



結核しずおか

40号2017年4月26日

発行・編集

公益財団法人 静岡県結核予防会

〒420-0915

静岡市葵区南瀬名町6-20

TEL 054-261-2512

FAX 054-261-9474

Eメール tb-shizuoka@gaia.ocn.ne.jp

HP www.jata-shizuoka.org



巻頭言

結核予防会は、公益財団法人となって5年目を迎えます。県民の健康を守るために活動しておりますが、市町や施設の職員様、基幹病院や実地医家の先生方のお力添えなくしては、日々の業務も成り立ちません。日頃のご理解とご協力に対し、この場を借りて御礼申し上げます。

かつての日本は結核高蔓延国であり、国の将来を担う若者達が大量の命を落としました。その後、行政対策も含めた様々な努力により、結核は着実に減少してきました。しかし、大火が消し止められてもまだ煙がくすぶるように、結核もくすぶっては時に散発します。日本は、10万人中14人が結核に罹患する、中蔓延国であることを忘れてはいけないと思います。

結核や、結核に関連する新たな課題もあります。

一つめは、結核高蔓延国からの渡航者により持ち込まれる結核への対策です。

二つめは、患者さんの権利を守ることです。たとえ発病しても、通勤や通学を続けながら治療できる場合も多いです。個人情報が出回って、あるいは結核に対する正しい理解を得られず、不適切な扱いを受けることがないよう配慮が必要です。

三つめは、DOTS (Directly Observed Treatment, Short Course) の推進です。DOTS とは WHO が提唱している結核抑圧のための戦略の一つです。お薬を確実に服用したかを確認することで、服薬の中断や、服薬しなかったりによる耐性菌の出現も防ぎ、確実に治すことを目指します。その結果、新たな患者さんが減り、結核の抑圧につながるという考えです。関係者の方々やご家族に加え、かかりつけ薬局との連携 DOTS も浸透するかが、課題となります。

四つめは、禁煙推進です。受動喫煙の害は明らかで、個人的には、店の規模などと言わず、飲食店は禁煙が望ましいと思います。東京オリンピックを機に推進したい課題です。

当会における最重要課題は、世代交代です。レントゲンは従来のフィルム画像から、デジタル化が進み、当会でもその導入・運用に努力しております。また、技術の進歩に伴い、それを使いこなす次世代若手スタッフの育成、継承もまったなしの課題です。

小さな施設の当会ですが、県民の方々のために一層の努力を致す所存ですので、どうか、今まで同様にご指導、ご高配を何とぞよろしくお願い申し上げます。



公益財団法人静岡県結核予防会 副理事長 小林健司

ヤマハ発動機健康推進センターの活動紹介

ヤマハ発動機株式会社 健康推進センター
産業医 内野 文吾



弊社は磐田市に本社を置く、輸送機器メーカーです。モーターサイクル(オートバイ)を主力に、船外機などのマリン製品、電動アシスト自転車や電動車いす、無人ヘリコプターや樹脂製プール、または産業用ロボットなど、陸海空の乗り物だけでなく、産業や農業分野など世界中で製品をご愛顧いただいております。静岡県西部、いわゆる遠州地区に事業所が集中しており、研究・設計開発から実験、生産、品質管理まで、多くの社員が昼夜働いています。

私たち健康推進センターは、社員約 11,000 名と、一部の関連会社や社内に勤務する方々の健康管理を担当しております。スタッフは非常勤も含めると 35 名、産業医や保健師・看護師の医療スタッフ、管理栄養士やカウンセラー、企画スタッフなど、幅広い職種のチームで産業保健を実践しております。

産業保健というあまり馴染みのない分野かも知れませんが、労働者を仕事による健康障害から守り、疾病を抱えていても配慮の元で充実した就労を実現するための活動です。少子高齢化と労働力の不足が懸念される現代においては、ますます大切な取り組みであると認識し、日々活動しています。実務においては、社員に対する安全配慮義務を確実に果たすため、法的要求が多いながらも、会社の実情に応じた重点目標を定め、取り組んでいます。

産業保健の領域は大変幅広く、物理環境や化学物質取り扱いなど労働環境と生体影響に始まり、生活習慣病、感染症予防、海外渡航など、衛生学・公衆衛生学を基礎とする予防医学と、近年ではメンタルヘルスやストレスマネジメントなど、心身ともの健康確保が求められています。

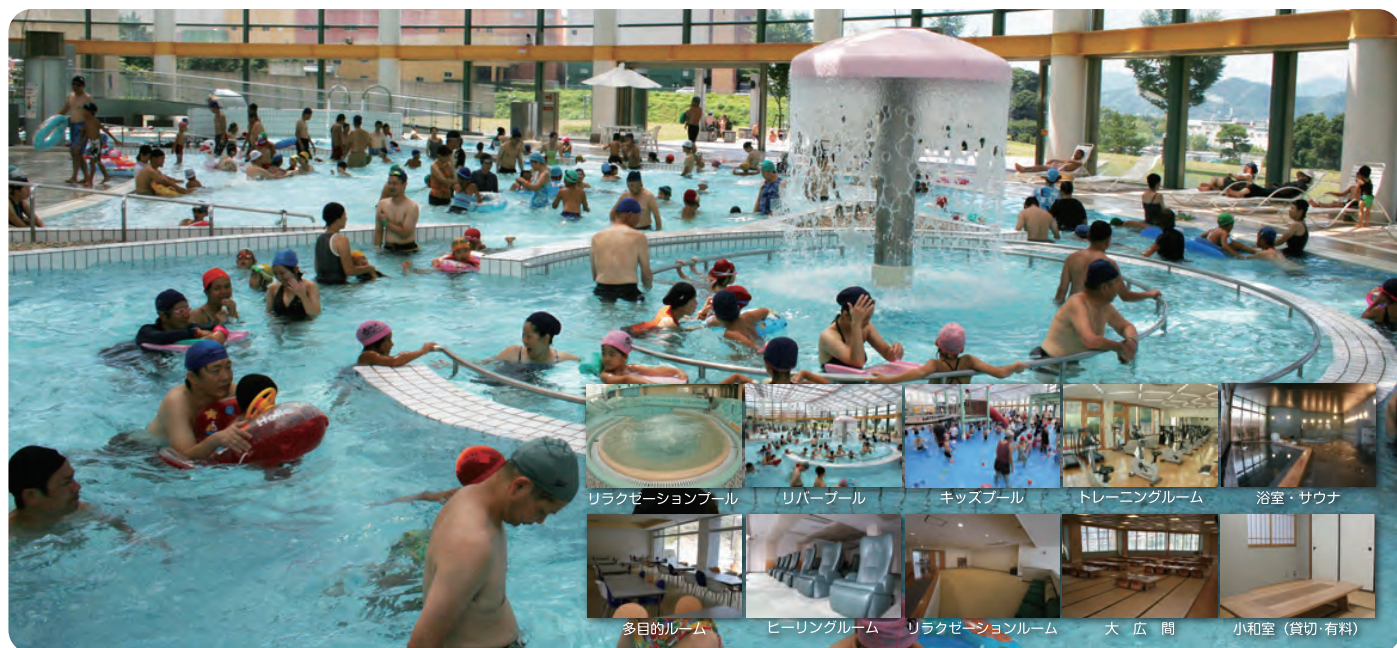
当社における最近の課題は、定年後再雇用社員の増加に伴うエイジマネジメントと、グローバル化が進む中での外国人労働者の労働衛生管理です。現在、定年は事実上 65 歳であり、シニア世代も元気に働ける環境づくりが求められています。また、かつては海外駐在する社員の管理が大きな柱でしたが、現在では日本に勤務する外国籍社員が急速に増加しており、その管理の質の向上が求められています。基本的には日本人社員と同様の管理を行うわけですが、生活習慣や気候、言語や宗教の違いなど、配慮すべき事項は多岐にわたるため、日々試行錯誤しております。昨年からは開始となったストレスチェックについても、どう実施してフィードバックを行うか、なかなか答えが見えません。

そのような私たちのやりがい、元気に仕事に打ち込む社員の充実した笑顔や、目標を達成したときの喜び、真剣勝負のヤマハ発動機ジュビロがラグビーで勝利したときなどです。会社がフィールドだからこそその一体感が魅力と感じています。

最後に、静岡県結核予防会の皆様には、長年弊社の胸部 X 線写真検査をお願いしているご縁で、この 2 月から移転した念願の新健康推進センターの設備検討に当たっても、多大なご支援をいただき、効率的なシステムを導入することができました。この場をお借りいたしまして御礼申し上げますと共に、今後ともご支援賜りたく、お願い申し上げます。



ゆららで健康増進！リフレッシュ！



環境に優しいエネルギー循環型の健康増進&レジャースポット！

葵区南沼上に位置する「ゆ・ら・ら（静岡市ふれあい健康増進館）」は、隣接する沼上清掃工場でゴミ焼却時に発生する余熱を利用したエネルギー循環型の温浴施設として2001年4月にOPENしました。温水プールで泳いだり、歩いたり、遊べるのはもちろん、ジャグジープールではリラクゼーションも楽しめる他、トレーニングルームやお風呂（一部温泉）、各種アクア・フィットネススクール、ゆらら祭りなどのイベントなど、全ての世代が楽しく過ごせる施設となっており、管理運営は指定管理者として「静岡市ふれあい健康増進館管理運営共同事業体（公益財団法人静岡市まちづくり公社・静鉄プロパティマネジメント株式会社）」が担っております。

世界に誇れる健康長寿の都市を目指すため

世界に誇れる健康長寿の都市を目指す静岡市の施策に則り、市民の皆様一人ひとりに健康づくりについての正しい知識と理解を深めて頂くため、静岡県結核予防会様をはじめとする各種団体との連携により、「ゆらら健康まつり」を開催しております。会場では、各種測定器具での簡単健康診断、健康・栄養・保健・リハビリ・運動・薬剤相談等、1日健康に関する様々な体験をして頂くとともに、お子様も楽しめるコーナーや地元高校生によるコンサートなどもあり、ご家族、皆様で楽しめるイベントとなっております。本年におきましても9月17日（日）に開催予定となっておりますので、皆様のご来館を心よりお待ちしております。



家族で楽しめるイベントで心にも健康を！

健康増進への取り組みは身体測定や運動のみならず、心の健康にも配慮した様々な体験イベントも開催しております。現代はストレス社会とも言われるほど、誰もがストレスを感じやすく、どんなに身体が健康な人でも、ふとした事で心の病に犯されてしまいます。そのような中、余暇の有効的な活用による心身のリフレッシュに繋げる事業として「梅サワーづくり教室」、「流しソーメン体験」などの地域資源を活用した講座や、「手作りうどん教室」、「手前味噌づくり教室」、「クリスマスリース作り教室」や「ミニ門松作り教室」などの季節に応じた講座など一年を通じ様々なイベントを開催しています。



全ての世代が参加できる様々な講座

当施設の最大の魅力でもあるプールでは、毎日誰でも無料で参加できるフリースクールや、幼児から高齢者までに対応した各種アクア講座をはじめ、スタジオでは人気のヨガやピラティスなど多くのフィットネス講座を開催しております。これら講座は年々受講される方が増えており、健康増進への意識の向上の高まりを感じています。個人差はありますが、当講座を受講されたことにより、体調改善に繋がったとの声も多く頂いております。



これら以外にも、年に一度の感謝祭として開催する「ゆららまつり」をはじめ、季節に応じたイベントが多く開催されているほか、有志によるサークル活動（パソコン・折り紙・太極拳・社交ダンス等）も非常に盛んであり、仲間作りの場としても好評を頂いております。また、当施設には定期利用券（1年・6カ月・3カ月）の取扱いがあることから、気兼ねなく足を運んで頂いております。まだご来館されたこと無い皆様、是非一度ゆららに遊びに来て下さい。きっとご自身にあった健康づくりのスタイルに出会えるはずです。職員一同心よりお待ちしております！



静岡市ふれあい健康増進館
〒420-0905 静岡市葵区南沼上 1379-1
WEB <http://yurarashizuoka.com>

お問い合わせは

054-263-3456





あなたとあなたの家族は健診を受けていますか？

静岡県結核予防会では、県民の健康増進に寄与するよう結核をはじめとする呼吸器疾患や生活習慣病等の予防のための健康診断を市町が行う集団検診と事業者が従業員に向けて行う健康診断により実施しています。市町の集団検診では、勤務先などでがん検診・その他の検診を受ける機会がない人を対象に実施され、その検診項目として、結核・肺がん検診、胃がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診、特定健康診査、骨粗しょう症検診、大腸がん検診等を行っています。

今回は、静岡県民のがん検診の受診件数の実績を過去3年遡り把握し、これからの受診率を上げていくための検証材料として表に、また、その内、減少傾向が顕著な結核・肺がん検診、胃がん検診をグラフにまとめました。

静岡県住民の各種検診 受診件数 (件)

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
結核・肺がん検診	165,778	162,976	161,846
胃がん検診 (バリウム)	86,321	80,964	75,974
大腸がん検診	157,072	161,370	161,250
乳がん検診	74,981	77,162	79,291
子宮頸がん検診	133,543	134,994	140,057

データから、結核・肺がん検診は、平成 24 年度 165,778 件、平成 25 年度 162,976 件、平成 26 年度 161,846 件と減少しています。また、胃がん検診は、平成 24 年度 86,321 件、平成 25 年度 80,964 件、平成 26 年度 75,974 件と減少しています。大腸がん検診や各種婦人科検診の受診件数は、ほぼ横ばいか増加傾向ですが、静岡県が目標受診率の考察に使用する「国民生活基礎調査（3年に1回厚生労働省による）」によれば、平成 25 年度の受診率は、大腸がん検診：38.3%、乳がん検診：26.7%、子宮頸がん検診：28.2%となっており、決して十分な受診率とは言えない現状です。

各種検診を行っている市町においては、受診券送付の対象年齢が限られていることや、健診のご案内が届いても、関心を持たず書類を読まない方も多く様に見受けられます。また、健診が平日のみの開催になりがちなのが、受診率の減少傾向の理由の1つとして考えられます。全ての受診者に、周知方法及び開催方法を更に理解しやすくご案内していくことが、受診率向上に繋がるのではないかと思います。減少傾向になりつつある現状を止め、これ以上減らさないよう、増やしていくように工夫するべきです。

当会としましては、県民の受診率向上に励んでいくために、早期発見のための普及啓発活動としてチラシの配布や検診日程を記載したご案内を回覧していきたいと思っています。また直接、受診対象者様のお手元に届くご案内の封筒を少しでも魅了することのできるようなアイデアを組み込んで、県民の皆様が今よりも更に、健診について身近に考えることができるように、市町のご協力を仰ぎながら、県民の皆様へ健診について理解を深めていただけていくことが、健康増進へ繋がっていくのではないかと考えています。

総務課情報管理室 安部裕一郎

平成 28 年度

公益財団法人 静岡県結核予防会

講演会開催報告

主催：公益財団法人 静岡県結核予防会

後援：静岡県

日時：平成 29 年 1 月 18 日（水） 14:00 ～ 16:00

会場：男女共同参画センター「あざれあ」4 階 第一研修室

講師：公益財団法人 結核予防会 複十字病院

呼吸器センター医長 森本 耕三 先生

『増え続ける非結核性抗酸菌症の話題と課題』



この講演会は静岡県よりご後援をいただき各地域における疾病予防事業を支援するための一環として、疾病の予防医療に関する専門知識を提供することを目的として、年に一度であります当会主催で開催しております。

なぜ・なぜ・なあに？

知って納得！肝炎を学ぼう！

最近テレビや雑誌、CMなどで『肝炎』や『肝炎ウイルス検査』などの言葉を耳にすることが多くなりました。そもそも、『肝炎』って何か、みなさまご存知でしょうか？

日本で、もっとも多い肝臓の病気です。ぜひ、ご自身や周りの方々の健康にお役立ていただきたい！

『肝炎』について学びましょう。



肝炎 Q&A



どんな種類があるの？

どんな症状があるんだろう？

A・B・C・D・E型などの分類があります。日本で問題になるのは、A・B・C型の3種類がほとんどです。

今回は、A・B・C型について学びましょう！

A型肝炎

<感染源・経路>

- ・患者の便で汚染された生水
- ・生の貝類
- ・経口感染



2週間から1ヶ月潜伏するよ。

発熱やかぜのような症状、消化器症状、黄疸などが出るんだ。

感染は一過性で、持続性はないから、慢性肝炎にはならず、肝がんへの移行などもないです。

B型肝炎

<感染源・経路>

- ・血液（輸血・注射・手術・外傷など）
- ・体液（性交渉など）
- ・経皮感染・母子感染



急性肝炎（6ヶ月未満）と慢性肝炎（6ヶ月以上）があるよ。

急性肝炎は発熱・倦怠感・食欲低下・黄疸・肝機能低下などが起こる。慢性肝炎になると肝硬変や肝がんなど重大な肝臓疾患への移行の可能性もあるんだ。

自覚症状がほとんどないことが多いから注意が必要です！

ワクチンによる予防が可能です。

C型肝炎

<感染源・経路>

- ・血液
- ・経皮感染・母子感染（まれ）



高い確率で、慢性肝炎（6ヶ月以上）になり、倦怠感・食欲不振・吐き気などが起こるよ。

また、肝硬変や肝がんなど重大な肝臓疾患への移行の可能性もあるんだ。

自覚症状がほとんどないことが多いから注意が必要です！

以前は、輸血、注射針などからの血液感染もありましたが、現在は対策済みのため新たな患者はほとんどいません。

検査方法・治療方法は？

血液検査で、肝炎ウイルスの有無を調べます。

現在、B型およびC型ウイルス検査は、国の補助制度により無料で受診することができます。

A型：一般的には、安静にすることで2～3ヶ月で自然治癒します。症状により入院することもある。

B・C型：入院または通院にて、原因となるウイルスの除去または減少、肝臓の炎症の抑制、肝機能の改善のため、注射や内服治療を行います。

まとめ

肝がんの原因の8割は、B型・C型肝炎が進行し、発症したものといわれています。早期肝炎の段階で治療することで、肝がんの発症を防止できます。肝炎ウイルス検査を受診し、早期発見に努めましょう！！

肝がんの8割は予防できるがんである！

総合健診課／青木由香子・上西昌子 総務課／近藤みのり

平成28年度の講演会は当会本部より「増え続ける非結核性抗酸菌症の話題と課題」と題しまして、公益財団法人結核予防会 複十字病院 呼吸器センター 医長森本耕三先生のご講演となりました。

非結核性抗酸菌とは、結核菌とライ菌を除く抗酸菌の総称であり、現在は160種を超える菌が発見されており、非結核性抗酸菌症とは、それらの菌種によって起こる感染症のことです。非結核性抗酸菌症は中高年に多い病気で、日本では北海道や東北など少ない地域があれば、四国や九州など多い地域もあり、全体的に西へ行くほど罹患率が高く、日本全体としては高蔓延国となっております。結核は発病すると人から人へ空気感染を起こしますが、非結核性抗酸菌症は人から人へ感染することはありませんので、一般病棟あるいは外来にて治療を行うことになります。しかし、結核のような報告義務が無いため、疫学情報の困難や治療開始時期のガイドラインが定められていないなど、多くの問題を抱えています。

2014年には罹患率が結核を上回り、同年の平成26年に国の研究班が作られたため、今後に向けて状況は変わってくるのかもしれませんが。

いったいどこで感染するのか？感染源は何か？というのが非常に知りたい情報ですが、バスルームの給湯口や農場やガーデニング等の土壌暴露などといった空気感染が関係ありそうだという研究がなされていますが、現段階では確かなことはまだ言える段階ではありません。

そのほかにも、診断基準に関しましてはたん検査での2回以上の陽性反応や1回の気管支鏡検査、治療方法に関しましては3剤＋注射薬などの治療法や、途中で薬の服用を止めてしまうために起こる耐性菌の問題、たん検査を繰り返して陽性反応が出なくなってから更に1年間は検査結果を見ていくなどといった治療を得るための困難な話など、色々な情報を聞くことが出来ました。しかし先ほども述べましたように、平成26年に国の研究班が作られたばかりですので、現状では確かなことがまだ言える段階では無い部分が数多くあることも事実であり、今後、今回の講演内容とは、また別の色々な部分が変わってくる可能性はあります。

このような時期だからこそ、非結核性抗酸菌症のお話を聞くことが出来まして大変勉強になりました。

検診課／宮崎文考

表彰のご紹介

平成 28 年度
静岡県結核予防婦人会長表彰

みなさまのご支援ご協力に
心より感謝申し上げます

複十字シール募金成績優良団体

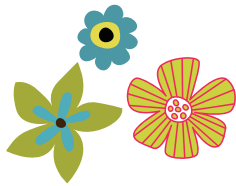
富士宮支部 駅前おかみさんの会 様
静岡市支部 中藁科地区 様
静岡市支部 久能地区 様
御殿場支部 高根地区 様
御殿場支部 印野地区 様

使用済切手収集成績優良団体

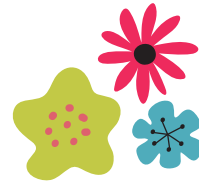
熱海支部 様 裾野支部 様
沼津支部 様 伊豆市支部 様
富士宮支部 様 御殿場支部 様
三島支部 様

結核予防功労者

前任本部役員
監事 佐藤 和子 様
前任支部長
伊東支部 山田 美恵子 様
裾野支部 長澤 由美子 様
富士宮支部 小笠原 しづ枝 様



結核予防会の本 出版案内



結核を中心とする疾病の予防に関する正しい知識を広く県民の方に普及するために、公益財団法人結核予防会が編集・出版している専門書やパンフレットなどの案内をしております。

好評発売中

結核に関する新情報！ 日々の業務に欠くことができない雑誌 「保健師・看護師の結核展望 108 号」



「行政」「業務」「事例研究」「わたしたちの仲間」「相談」の各欄に分け、結核に関するすべての動き、情報、研究、調査、業務等を網羅しており、保健師・看護師の業務に欠くことのできない雑誌です。

今回の特集は、「結核に関する特定感染症予防指針の改正」
「潜在性結核感染症治療終了後の管理方法等について」
「肺外結核と LTBI の DOTS の取り組み」です。

また、N95 マスクのフィットテストの定期的なチェックや、中断ハイリスク患者への支援、留学生における結核罹患率についてなど内容は盛りだくさんです。

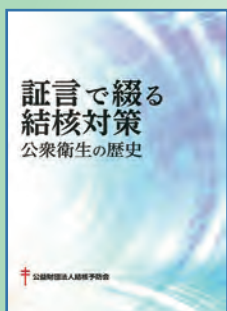
この雑誌は、定期購読を利用することができます。 定価 2,052円(税込)

平成 29 年改訂版が完成しました！！

「感染症法における結核対策 保健所・医療機関等における対策実施の手引き」

結核予防会 75 周年を記念して！

「証言で綴る結核対策公衆衛生の歴史」



結核予防会 75 周年を記念して
作られた本で、アーカイブ事業
の一環で作成されました。

定価 3,240 円(税込)

定価 4,860円(税込)



お問い合わせ先：

公益財団法人 静岡県結核予防会

総務課 までご連絡ください。

TEL : 054-261-2512

FAX : 054-261-9474

HP では最新情報を掲載しております。
どうぞご利用ください。

HP: <http://www.jatahq.org>



題字：田中 隆 (元当会職員) 表紙撮影：村木 弘知 (元県職員)